



大網白里市の花
(コスモス)



東上総のマーク
(H26 作成)



〒297-0024 茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
第7号

平成29年3月24日(金)発行

「子どもたちの笑顔を行行動の原点に！！」

所長 横山昌彦

先日、次期学習指導要領の改定案が示された。改定案では、グローバル化や情報技術に対応するため、思考力・判断力・表現力といった「生きる力」の育成を基本理念に掲げ、「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を求めている。多忙な学校現場においては、何から手をつけたらいいのかわからないといったところが本音であろう。

しかし、もう目の前に迫っているのも事実である。新年度には様々な研究や研修が始まる。私たち教師自身の学びこそ「主体的・対話的で深い学び」でなければならない。先生方の「アクティブ・ラーニング」研修会が最前列から埋まるようであれば、児童・生徒がアクティブに学ぶ日は来ない。先生方の心の底にある「指名されそうだから前列には座りたくない」という「パッシブ」な気持ちこそ児童・生徒には敏感に伝わるものである。教員同士も教え合い、お互い成長していこうとする姿勢が大切だ。

新年度はもうすぐ始まる。私たち教師は、未来を創る東上総の子どもたちのために範を示そう。

私たちの努力は、必ず子どもたちの笑顔につながる！！



遊・友スポーツランキングちば「中期大賞」！「年間賞」！

千葉県教育委員会では、児童生徒の体力向上と社会性の育成を目的として、8つの種目に取り組み『いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」』を実施しています。

今年度は、7月～11月の期間での「中期大賞」を東金市立東小学校が受賞しました。東小学校は全体の7位にあたる「年間賞」も受賞しました。

また、大網白里市立白里小学校(3位)、大網白里市立季美の森小学校(6位)、山武市立成東小学校(8位)の各学校も「年間賞」を受賞しました。

さらに、勝浦市立勝浦中学校(11位)が「奨励賞」を受賞しました。受賞された各学校の皆様、おめでとうございます。



いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクール！

子どもたちが、よりよい生活習慣を身につけることを目的に、千葉県教育委員会では、いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクールを行っています。

今年度は、大多喜町立大多喜中学校が「優秀賞」を受賞しました。おめでとうございます。



学校現場に役立つ！
情報サーチ
連載 21

『「生きる力」を育む東上総の教育』の積極的な活用をお願いします！

「平成28年度『生きる力』を育む東上総の教育」が、まもなく完成します。今年度は、平成26・27年度版を踏まえ、さらなる授業力アップにつながる内容を目指しました。各教科等においては、特に次の2点にターゲットを絞り、作成しました。

- ① 「深める」の学習プロセスについて、訪問から見た「成果と課題」と関連させ、各教科等の「指導過程」において、思考を深めるような実践例を示す。
- ② 次期学習指導要領について、中教審答申から教科等の変更点等について記載する。

平成29年度「第1回教育長・校長会議」(4月開催)で、本冊とデータCDを配付します。校内のサーバ等にデータを保存して、日々の学習活動や校内研修等で御活用ください。



今年度の「長期研修生」にうかがいました！

千葉県では、現職教員に対し、学校現場を離れて長期間の研修機会を与え、**県・地区のリーダー**として本県教育の推進者となる人材を育成することを目的に、長期研修を実施しています。東上総管内では、今年度12名の小・中学校の教諭が長期研修を修了しました。なお、勝浦市立北中学校の田中聡子先生は、事務所だより第4号にて掲載いたしました。



- ① 氏名 所属 研究領域
研修期間
- ② 研究テーマ
- ③ 研究概要（成果等）
の3つの事項に関して
お答えいただきました。

- ① **内山 恵美子** 東金市立東小学校 **国語** H28年度（1年間）
- ② **書くことにおける説明する力を高める学習指導**
～相手意識を中核とした学習プロセスの工夫と場の設定を通して～
- ③ 実生活の中から説明が役立つ場を捉え、説明の機能が明確に表れるQ&A形式を用いたリーフレット作りの学習を行った。相手意識を中核とした学習プロセスの工夫と説明の有用性を感じることができる場の設定をすることで、書くことにおける説明する力を高めることができた。

- ① **古内 忠広** 長南町立長南小学校 **社会** H28年度（1年間）
- ② **児童の社会認識を育む社会科学習の在り方**
～知識基盤社会における探求のプロセスを中心に～
- ③ 第6学年の歴史学習に、探求のプロセスを設定し、社会的事象の概念形成過程を明らかにして授業を行った。また、プロセスに沿った資料やワークシートを用いたことで、児童自らの力で単元のまとめを書くことができた。

- ① **鈴木 大** いすみ市立太東小学校 **社会** H28年度（1年間）
- ② **広い視野で見たり考えたりする力を育成する社会科学習のあり方** ～岬町の梨づくりを単元の軸として～
- ③ 千葉県の学習において、岬町の梨づくりを教材化し、単元の軸として位置付けた。岬町と県内他地域の梨づくりを関連付ける単元構成や資料提示の工夫を手立てとすることで、広い視野から千葉県の特色を総合的に理解することができた。

- ① **森 孝行** 東金市立東金中学校 **理科** H28年度（1年間）
- ② **科学の有用性を実感できる理科の学習指導の開発**
～科学の有用性と理科の有用性との認識の違いに着目して～
- ③ 国際調査から、日本の生徒の理科の有用性は、調査実施国の中でほぼ最下位である。身近な事物・現象を既習事項である原理や法則で説明・予測でき、自分自身の生活に影響がある題材を用いることにより、科学や理科学習の有用性を高める学習指導法を開発した。

- ① **宮川 正彦** 九十九里町立片貝小学校 **体育** H28年度（1年間）
- ② **巧みな投動作用を効果的に身に付けさせる指導法**
～プレイ性を重視した体づくり運動を通して～
- ③ 巧みな投動作（距離に応じて、ねらったところに、素早く）を、児童に身に付けさせる指導法と効果について検証した。本研究では、プレイ性を重視した教材を開発し、協働場面を設定したことにより、児童は効果的に身に付けることができた。

- ① **篠田 淳志** 一宮町立一宮小学校 **体育** H28年度（1年間）
- ② **ゴール型のゲームにおける状況判断とサポートに関する研究**
～オールコートゲームにおける攻守の切り替え時に着目した指導のあり方について～
- ③ 簡易化されたハンドボールで状況判断やサポートに関する指導に着目し、実践した。攻守の切り替え教材や教材配列、指導方法の工夫を通して、児童のオールコートゲームでのゲームパフォーマンスを向上させることができた。

- ① **山本 理恵** 山武市立山武中学校 **道徳** H28年度（1年間）
- ② **よりよい多文化共生社会を形成するための「考え、議論する」道徳教育**
～寛容の心を育てる～
- ③ 「寛容」に視点を当てた「考え、議論する」道徳教育プログラムを開発した。授業内での意思決定や議論、学習履歴図での振り返りや生活ノートと連携した広い心日記を継続して行った。その結果、広い心で自分と異なる意見や立場を重んじる生徒が大幅に増加した。

- ① **三戸 雅弘** 大網白里市立大網中学校 **生徒指導** H28年度（1年間）
- ② **中学生によるネットいじめに対するいじめ対策プログラムの在り方**
～観衆・傍観者から仲裁者への変容を促す実践を通して～
- ③ 情報モラルアプリや映像教材を活用し、ネットいじめの場面を想定させることで、仲間と相互に意見を交わしながら主体的に活動することができた。ネットいじめを目撃した際の、仲裁者意識の向上と自分が取りうる行動の選択肢の拡充が見て取れた。

- ① **柿崎 恵美子** 山武市立睦岡小学校 **教育臨床** H28年度（1年間）
- ② **今井 雅浩** 長生村立長生中学校
- ② **学校教育相談を学ぶ**（共同研究）
- ③ 本研究では、研修を受けた研修生の考え方や学びの変容から学校教育相談の考え方を整理した。さらに、変容に至るプロセスに影響した要因について話し合い、教員としての学びの在り方を考察した。

- ① **桑門 麻希子** 御宿町立御宿中学校 **音楽** H27・28年度（2年間）
- ② **中学校音楽科における合唱指導のあり方**
～合唱に必要な基礎的能力を育てるための指導法～
- ③ 「合唱に必要な基礎的能力」の育成に焦点を当てて研究を進め、その能力を「音楽的感覚」「音楽の技能」「読譜・記譜の能力」の面から明らかにし、指導理論を構築した。検証授業では「聴くこと」と「イメージすること」に重点を置き、階名唱を手立てとした指導を行った。その成果として、音楽を理解するための音高感覚、音程感覚、ハーモニー感覚を養うための手がかりが見出せた。